

ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ: <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーコール

0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後5:30)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用
はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 5KF

1 609 92A 5KF (2020.01)

コードレス吸じんアダプター GDE 18V-26 D



取扱説明書

このたびは、弊社コードレス吸じんアダプターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。



- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

目次

● 安全規則.....	2
警告表示の区分	2
一般安全規則.....	2
● 安全上のご注意.....	7
コードレス電動工具全般についての注意事項	7
吸じんアダプターについての注意事項.....	12
● 本製品について.....	13
用途.....	13
取り付け可能電動工具本体	13
各部の名称.....	14
標準付属品.....	15
仕様.....	17
● 使い方.....	18
● バッテリーを長持ちさせるために.....	34
● リサイクルのために	34
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください	34
● お手入れと保管.....	35
クリーニング.....	35
保管.....	35
吸じんアダプター本体の廃棄について	36
● 困ったときは.....	37
故障かな?と思ったら.....	37
修理を依頼するときは.....	38

安
全

本
製
品
に
つ
い
て

使
い
方

バ
ッ
テ
リ
ー
に
つ
い
て

お
手
入
れ
と
保
管

困
っ
た
と
き
は

安全規則

安
全

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は 、、 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

- 危険** ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。
- 警告** ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
- 注意** ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

一般安全規則

警告

取扱説明書の内容すべてをよくお読みください。

下記に記載した指示に従わなかった場合は、感電、火災、重傷を招く恐れがあります。

下記に記載したすべての警告における“電動工具”という用語は、電源式(コード付き)電動工具または、電池式(コードレス)電動工具を示します。

次の事項を順守してください。

a) 作業場

- 1) 作業場は整理整頓し、十分な照明を保ってください。散らかった暗い場所は、事故の原因になります。
- 2) 爆発を引き起こす恐れのある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動工具を使用しないでください。
電動工具は、粉じんまたはヒュームを発火させる恐れがある火花を発生する場合があります。
- 3) 電動工具の使用中は、子供および第三者を近づけないでください。注意が散漫になり、操作に集中できなくなることがあります。

安

全

b) 電気的安全性

- 1) 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。アダプタプラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。
改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電する危険が低減されます。
- 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫など、接地処理された媒体と身体が接触するのを避けてください。
身体が接触すると、感電する危険が増大します。
屋外で使用する際には、3)～5)の注意が必要です。
- 3) 電動工具、充電器、バッテリーは、雨ざらしにしたり、湿気のある状態にさらしたりしないでください。水が入ると、感電する危険が増大します。
◆ バッテリーが発煙、発火、破裂する恐れがあります。
- 4) 電源コードは乱暴に扱わないでください。コードを使って電動工具を運んだり、コードを引っ張ったり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。また、コードを熱、油、角のついた場所、また可動部に近づけないでください。コードが損傷したりもつれたりしていると、感電する危険が増大します。
◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理を依頼してください。
- 5) 電動工具を屋外で使用するときは、屋外使用に合った延長コードを使用してください。屋外使用に合った延長コードを使用すれば、感電する危険が低減されます。
◆ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。



c) 人的安全性

- 1) 電動工具の使用中は、油断せず、いま自分が何をしているかに注意し、常識を働かせてください。疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりするときには、電動工具を使用しないでください。電動工具使用中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
 - ◆ 電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 2) 安全保護具を着用してください。常に保護めがねを着用してください。防じんマスク、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に着用することで、傷害事故が低減されます。
 - ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。騒音にさらされると、難聴の原因となります
- 3) 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、必ずスイッチが“切”になっていることを確認してください。指をスイッチに掛けて電動工具を運んだり、スイッチが“入”になっている状態で電動工具の電源プラグを電源コンセントに差し込むと、事故の原因になります。
 - ◆ 回転している先端工具が思いがけず身体に当たると、衣服に引っ掛かり、身体が引き込まれる恐れがあります。
- 4) 電動工具の電源を入れる前に、調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。電動工具の回転部に調節キーやレンチを付けたままにしておくと、人的傷害の原因になります。
- 5) 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。これにより、予期せぬ状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
- 6) きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。髪、衣服、手袋を、電動工具の回転部に近づけないでください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具、長髪は、回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認してください。集じん機などを使用することで、粉じんに関する危険を低減することができます。
 - ◆ 作業中に発生する粉じんは、健康を害します。

d) 電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具を、無理に使用しないでください。目的に合った電動工具を使用してください。より適切、安全に作業ができます。
 - ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
 - ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
 - ◆ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。
- 2) スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険です。修理を依頼してください。
- 3) 調整・付属品の交換・保管をするときは、必ず電動工具の電源プラグを電源コンセントから抜くか、電動工具本体からバッテリーを取り外してください。このような予防的安全手段により、不意の作動によるけがの発生が軽減されます。
- 4) 電動工具を使用しないときは、子供の手の届かない場所に保管してください。また、電動工具の取り扱いに不慣れな人や取扱説明書の内容を理解していない人には操作させないでください。電動工具を扱っていない人に渡すと、危険です。
 - ◆ この機械で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
 - ◆ 鍵のかかる所に保管してください。
- 5) 電動工具の保守を行ってください。電動工具の動きに影響を及ぼす恐れのある可動部分の心ずれや結合、各 부품の損傷やその他の状態をチェックしてください。異常があった場合は使用せず、修理をご依頼ください。多くの事故は、点検作業を怠ったことが原因となっています。
- 6) 先端工具は鋭利で清潔な状態を保ってください。先端工具を適切に手入れし、鋭利な状態を保っておけば、作業の円滑さを失うことなく、能率よく作業できます。
- 7) 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および作業内容を考慮して、それらの取扱説明書に従って、使う電動工具に合うように使用してください。
電動工具を意図した作業と異なる作業に使用すると、危険な状況になることがあります。
 - ◆ 指定されたアクセサリ以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。
- 8) 電動工具は、25℃での使用を前提としていますが、時折、35℃になることも想定しています。

安

全



e) コードレス電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具にバッテリーを挿入する前に、スイッチが“切”になっていることを確認してください。スイッチが“入”になっている状態でバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。
- 2) 弊社が指定した充電器だけで再充電してください。バッテリーに適さない充電器を用いると、火災の危険があります。
- 3) 電動工具は、指定された専用のバッテリーのみを使用してください。指定外のバッテリーを使用すると、人的被害および火災をもたらす恐れがあります。
 - ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
- 4) バッテリーを使用しないときは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジなど、バッテリー端子を短絡させる恐れのある金属物から離してください。バッテリー端子の短絡によって、やけどまたは火災をもたらす恐れがあります。
- 5) 過酷な条件のもとでは、バッテリーから液漏れが発生する場合があります。直接触れないでください。誤って触れた場合は、水で洗い流してください。バッテリーの液が目に入った場合は、医師の診察を受けてください。バッテリーから漏れた液体は、炎症ややけどをもたらす恐れがあります。

f) 整備

電動工具の整備は、資格をもつ修理要員が純正の交換部品だけを用いて行ってください。これにより、電動工具の安全性を維持することができます。

- ◆ サービスマン以外の方は電動工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ 電動工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- ◆ 損傷したり、改造した電動工具やバッテリーを使用すると、予想外の動きをして、電動工具をコントロールできなくなります。

安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みにになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

安
全

コードレス電動工具全般についての注意事項

ここでは、コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』について説明します。

危険

- バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。
 - ◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。
- バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。
 - ◆ 短絡の恐れがあります。
- バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。
また、バッテリー内部に水のような導電体を浸入させないでください。
 - ◆ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

 **警 告**

安

全

- **コードレス電動工具本体やバッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管しないでください。**
 - ◆ 発熱・バッテリーの液漏れ・破裂の恐れがあります。
- **正しく充電してください。**
 - ◆ バッテリーは、取扱説明書の指示に従って充電してください。
 - ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
 - ◆ 仕様に記載されている推奨充電周囲温度範囲外で、バッテリーを充電しないでください。
 - ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
 - ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ◆ 不適切に充電したり、指定された範囲外の温度で充電すると、バッテリーが破損したり、火災が発生したりする恐れがあります。
- **感電に注意してください。**
 - ◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。
- **加工するものをしっかりと固定してください。**
 - ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でコードレス電動工具を使用できます。
- **使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。**
- **ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。**
捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
- **充電機以外のバッテリー（マンガン乾電池等）は、充電しないでください。**

安

全

- **作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。**
 - ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。
電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。
ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。
水配管の貫通は、器物破損の原因になります。

- **先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、電動工具本体の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。**
 - ◆ 絶縁部分を持っていないと、先端工具が通電している配線に接触して、電動工具本体の金属部に通電した場合、作業者が感電する恐れがあります。
絶縁部分で保持していると、感電する危険が小さくなります。

- **作業中にコードレス電動工具本体の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちにスイッチを切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。**
 - ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

- **誤って落としたり、ぶついたりしたときは、コードレス電動工具本体や先端工具、付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
 - ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

- **鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鋳物や金属への作業から出るホコリやクズなどによっては、健康に悪影響を与えたり、アレルギー反応を引き起こしたりするものがあり、呼吸器の感染症やガンなどの原因となる可能性があります。**
 - ◆ アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。
 - できる限り、材料に合った集じん装置を使用してください。
 - 作業場所の換気に注意してください。
 - DS2クラス以上のフィルター付防じんマスクの着用をお勧めします。作業を行う材料に関して、自国の関連規則を遵守してください。

安

全

- フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、コードレス電動工具本体が冷めるための時間を設けてください。
 - ◆ 複数個による連続作業は、コードレス電動工具本体に支障をきたすばかりでなく、コードレス電動工具本体の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。
- 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者診断を受けてください。
 - ◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。
- 作業場で粉じんの堆積は避けてください。
 - ◆ 容易に発火する恐れがあります。
- 定期的にコードレス電動工具の通気口を清掃してください。
 - ◆ 通気口にほこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。
- コードレス電動工具を火のそばや、高温の場所に置かないでください。
 - ◆ 爆発の恐れがあります。
- 握り部は乾燥させ、油やグリースが付着していない状態を保ってください。
 - ◆ 握り部が滑りやすくと、コードレス電動工具本体を確実にコントロールすることができず、けがや事故の原因になります。
- 安全上のご注意は、必ず守ってください。
 - ◆ コードレス電動工具の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。コードレス電動工具操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
- 搬送について
内蔵のリチウムイオンバッテリーは危険物法令条件に該当しますが、お客様自身で陸送される場合はそれ以上の制約はありません。
第三者が運搬する場合(例えば空輸あるいは代理店経由)、特別な梱包とラベルの明記が必要です。出荷準備をされる際、有害物質取り扱いの専門家に相談してください。

 **注 意**

- **先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**
 - ◆ 確実にしないと外れたりし、けがの原因になります。
- **高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。**
 - ◆ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
- **電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。**
- **破損した保護カバー、その他の部品交換や修理については、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお問い合わせください。**

この取扱説明書は、大切に保管してください。

安

全

吸じんアダプターについての注意事項

安
全

コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項では説明しました。
ここでは、吸じんアダプターをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意
事項についてご説明します。

警 告

- **本取扱説明書をお読みになり、内容を正しく理解した方のみ使用してください。**
 - ◆ 知識がないまま作業すると、誤操作やけがをする危険性があります。
- **不意の作動によるけがの発生を防ぐため、吸じんアダプターを電動工具に取り付けたり取り外したりするときは、電動工具本体からバッテリーを取り外したり、電源プラグを電源コンセントから抜いたりしてください。**
 - ◆ バッテリーを取り付けたままにしたり、電源プラグを差したままにしたりすると、事故の原因になります。
- **けがの発生を防ぐため、吸じんアダプターを電動工具に取り付けたり取り外したりするときは、先端工具を取り外してください。**
 - ◆ 先端工具を取り付けたままにすると、けがの原因になります。
- **締め付けバンドに変形や損傷がないことを確認してください。**
 - ◆ 変形したり、損傷したりしている場合は使用せず、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- **金属粉を吸じんしないでください。**
 - ◆ 高熱を持った金属の破片によって発火する危険があります。
- **乾燥した物質(材料)の吸じんにのみ使用してください。**
 - ◆ 液体が侵入すると、感電の危険性が高まります。
- **本機に直接ジェット水を噴霧して、清掃しないでください。**
 - ◆ 液体が侵入すると、感電の危険性が高まります。

本製品について

用途

◆ コンクリートや石材、レンガなどの穴あけ作業時の吸じん

- ☞ 木材、金属、プラスチックの穴あけには使用しないでください。
- ☞ この吸じんアダプターは、長時間の使用や大径の穴あけには適していません。長時間使用する場合や、大径の穴をあける場合は、“GDE16PLUS”または“GDE68”にボッシュマルチ集じん機を接続して使用してください。

本製品について

取り付け可能電動工具本体

安定化ブラケット装着時

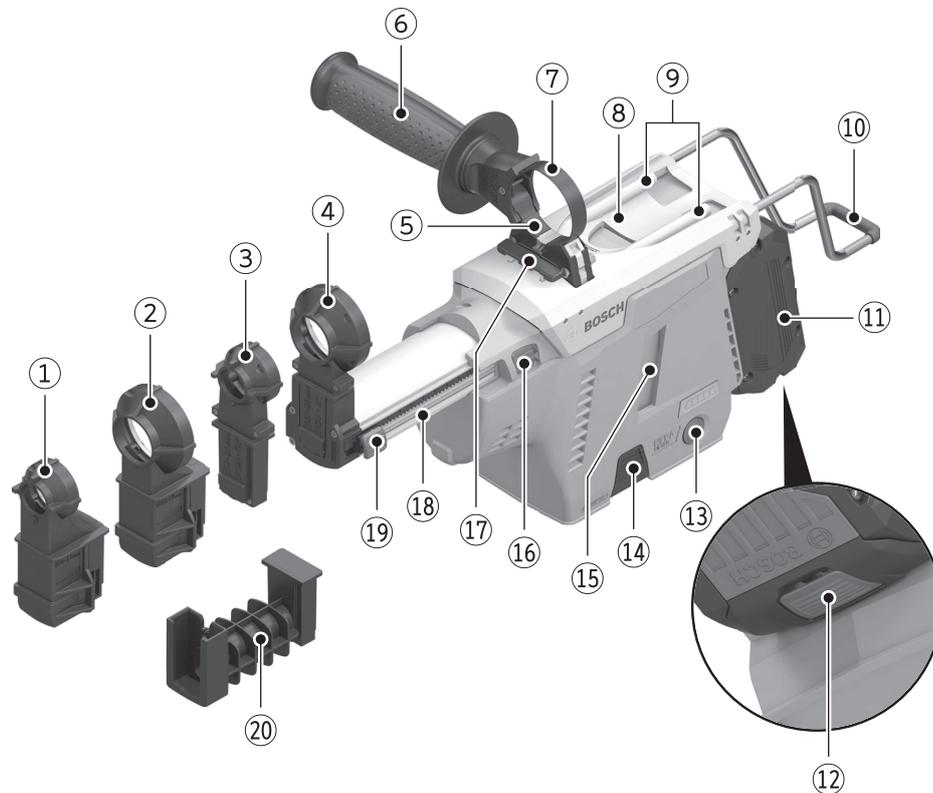
- ・GBH 2-26
- ・GBH 2-26 F
- ・GBH 2-28
- ・GBH 2-28 F

安定化ブラケット未装着時

- ・GBH 18V-26 D

各部の名称

本製品について



- | | |
|------------|-----------------|
| ①ダストカップ*1 | ⑪バッテリー |
| ②ダストカップ*1 | ⑫バッテリー取り外しボタン |
| ③ダストカップ*2 | ⑬メインスイッチ |
| ④ダストカップ*2 | ⑭ダストボックス取り外しボタン |
| ⑤ロックプレート | ⑮透明カバー |
| ⑥サイドハンドル | ⑯ガイド調節ボタン |
| ⑦締め付けバンド | ⑰ロック解除ボタン |
| ⑧取り付けブラケット | ⑱ガイド |
| ⑨ハウジングガイド | ⑲深さ調節ボタン |
| ⑩安定化ブラケット | ⑳延長アダプター |

*1 クイックリリースシステム採用のハンマードリル用

*2 通常タイプのSDS-plusチャックハンマードリル用

標準付属品

モデル名	GDE 18V-26
型番	-26 D
 ダストボックス(装着済み)	1個
 ダストカップ (クイックリリースシステム採用のハンマードリル用φ16mm)	1個
 ダストカップ (クイックリリースシステム採用のハンマードリル用φ26mm)	1個
 ダストカップ (通常タイプのSDS-plusチャックハンマードリル用φ16mm)	1個
 ダストカップ (通常タイプのSDS-plusチャックハンマードリル用φ26mm)	1個

本製品に
ついては

本
製
品
に
つ
い
て

モデル名	GDE 18V-26
型番	-26 D
 延長アダプター	1個
 安定化ブラケット	1個

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕 様

本 体

モデル名	GDE 18V-26
型 番	-26 D
穴あけ径*3	4mm~26mm
使用可能なドリルビット全長*4	265mm
使用可能なドリルビット有効長	100mm
質 量*5*6	2.2~3.2kg
推奨充電周囲温度範囲	0°C~+35°C
使用可能周囲温度範囲*7	-20°C~+50°C
保管可能周囲温度範囲	-20°C~+50°C
原産国	中国

本
製
品
に
つ
い
て

- *3 ダストカップ①③は、最大16mmの穴あけ
ダストカップ②④は、16mm~26mmの穴あけ
- *4 延長アダプター装着時
- *5 EPTAプロシージャー01/2014に準拠
- *6 使用するバッテリーの容量により、質量は異なります。
- *7 0°C以下の環境では、設計上の十分な能力を発揮できないことがあります。

使用可能ボッシュ充電器

品 番	AL 18... *8 GAL 18... GAL 3680CV
-----	--

使用可能ボッシュリチウムイオンバッテリー

品 番	A 18... *8 GBA 18V... ProCORE 18V...
-----	--

- *8 プロフェッショナル18Vシリーズに限る

☞ 本製品には、バッテリー・充電器は付属されていません。
使用可能なバッテリー・充電器の品番は、ボッシュ電動工具カタログを参照いただくか、
弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。(フリーコールの番号は、本
取扱説明書の裏表紙に記載されています。)

使い方



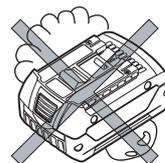
注意

- ◆ フィルターなしで吸じんアダプターを使用しないでください。フィルターなしで吸じんアダプターを使用すると、切り粉などが飛び散り、電動工具が損傷する恐れがあります。
- ◆ 吸じんアダプターを持って、電動工具を持ち運ばないでください。
- ◆ 吸じんアダプターを保管するときは、「ガイド調節ボタン⑩」を押してガイド⑪を完全に引き出してください。これにより、ガイドのスプリングへの負担が軽減され、スプリングの寿命が延びます。

使い方

● バッテリーを点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたたり、汚れていたりしていないか？
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか？



● バッテリーを充電する

充電については、充電器に付属されている取扱説明書をお読みにになり、正しく充電してください。

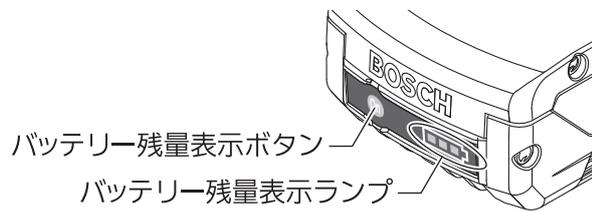
● バッテリー残量表示

バッテリー①の残量状態を、バッテリー残量表示ランプで確認することができます。

「バッテリー残量表示ボタン」を押すと、バッテリー残量表示ランプが点灯します。

☞ 「バッテリー残量表示ボタン」を押しても、バッテリー残量表示ランプが点灯しない場合は、バッテリー①が損傷しています。バッテリー①を交換してください。

GBA 18V...



バッテリー残量表示ランプ	バッテリー残量
緑色3つ点灯	60~100%
緑色2つ点灯	30~60%
緑色1つ点灯	5~30%
緑色3つ点滅	0~5%

使
い
方

ProCORE 18V...



バッテリー残量表示ランプ	バッテリー残量
緑色5つ点灯	80~100%
緑色4つ点灯	60~80%
緑色3つ点灯	40~60%
緑色2つ点灯	20~40%
緑色1つ点灯	5~20%
緑色1つ点滅	0~5%

● バッテリーを取り付ける・取り外す

 **警告** ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「メインスイッチ⑬」に指を掛けないように注意してください。

取り付け

バッテリー⑪を、吸じんアダプター本体のバッテリー差し込み口に“カチツ”“カチツ”と音がするまで押し込みます。

 このアダプターは、「バッテリー取り外しボタン⑫」が押されただけではバッテリー⑪が外れないよう、バッテリー⑪の取り付けが二重ロックになっています。

 **注意** ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

使
い
方

取り外し

「バッテリー取り外しボタン⑫」を押しながら、バッテリー⑪を吸じんアダプター本体から引き抜きます。

● 安定化ブラケットを取り付ける・取り外す



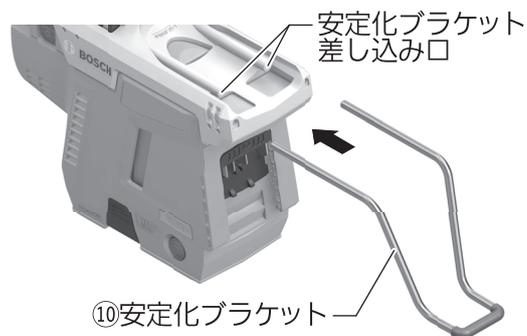
◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、吸じんアダプター本体からバッテリー⑪を取り外して作業してください。

下記の電動工具に吸じんアダプターを取り付けるときは、安定化ブラケット⑩を取り付けてください。

- ・GBH 2-26 ・GBH 2-26 F
- ・GBH 2-28 ・GBH 2-28 F

取り付け

安定化ブラケット⑩を安定化ブラケット取り付け口に差し込み、奥まで押し込みます。



使
い
方

取り外し

安定化ブラケット⑩を引き抜きます。

● 電動工具に吸じんアダプターを取り付ける・取り外す



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、吸じんアダプターを取り付けたり取り外したりするときは、電動工具本体からバッテリーを取り外したり、電源プラグを電源コンセントから抜いたりしてください。
- ◆ 吸じんアダプターを取り付けたり取り外したりするときは、先端工具を取り外してください。

取り付け

1. 吸じんアダプターの締め付けバンド⑦に変形や損傷がないことを確認します。



警告

- ◆ 変形や損傷があるときは使用せず、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

使
い
方

2. 電動工具本体に取り付けられているサイドハンドルを取り外します。
3. 吸じんアダプター本体を、安定した台やテーブルに置きます。
4. サイドハンドル⑥のグリップ部分を反時計回りに回して締め付けバンド⑦を緩めます。
5. 電動工具本体の前の部分を、取り付けブラケット⑧に載せます。
6. 電動工具本体の先端を締め付けバンド⑦に通し、ハウジングガイド⑨とロックプレート⑤部で“カチツ”と音がするまで押し込みます。
7. 電動工具本体のサイドハンドル取り付け部と締め付けバンド⑦の位置が合っていることを確認します。
8. サイドハンドル⑥を回して、作業に適した位置に合わせます。
 作業に適した位置にサイドハンドル⑥を固定すると、作業中に安定した姿勢が取れ、疲労を減らすことができます。
9. 締め付けバンド⑦が、奥まではまっていることを確認します。
10. サイドハンドル⑥のグリップ部分を時計方向に回して、締め付けバンド⑦をしっかりと締めます。
締め付け後、ガタつきがないか確認してください。ガタつきがある場合は、取り付け直してください。

取り外し

1. サイドハンドル⑥のグリップ部分を反時計回りに回して締め付けバンド⑦を緩めます。
2. ロック解除ボタン⑱を下に押し込みながら、電動工具本体を引き抜きます。

● 先端工具を取り付ける・取り外す



警告

- ◆ 先端工具を取り付けたり取り外したりするときは、電動工具本体からバッテリーを取り外したり、電源プラグを電源コンセントから抜いたりしてください。



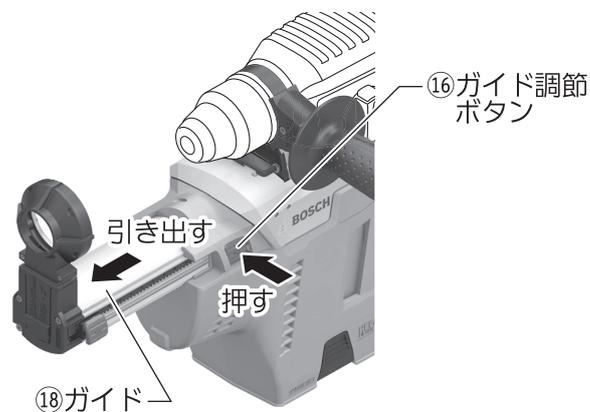
注意

- ◆ ガイド⑱はスプリング式になっています。「ガイド調節ボタン⑲」を押したときに、ガイド⑱が前方に飛び出るので、注意してください。

使
い
方

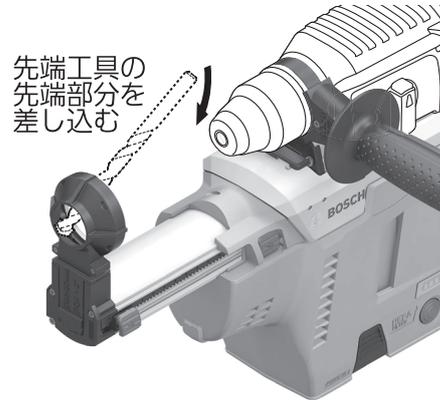
取り付け

1. 「ガイド調節ボタン⑲」を押しながらガイド⑱を前方へいっぱいまで引き出します。

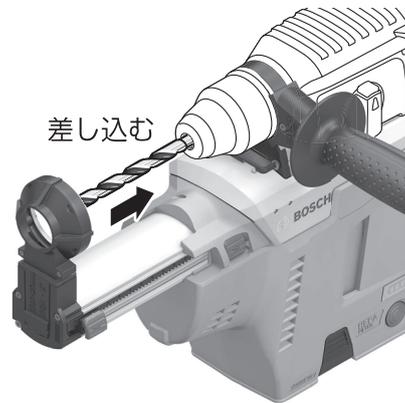


2. 「ガイド調節ボタン⑲」を放します。

3. 先端工具の先端部分をダストカップ
①②③④の後方から挿入します。



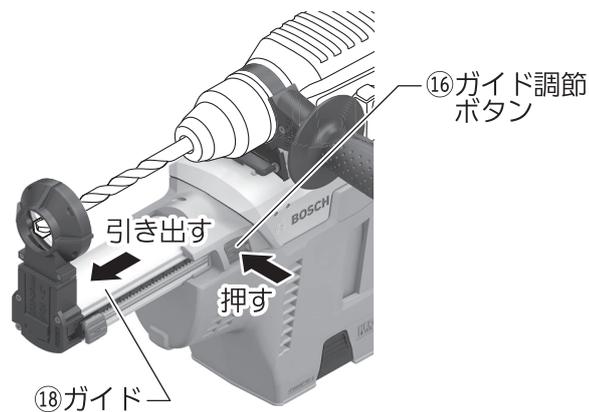
4. 電動工具本体の取扱説明書に記載
されている、先端工具の取り付け手
順に従って、先端工具を取り付けま
す。



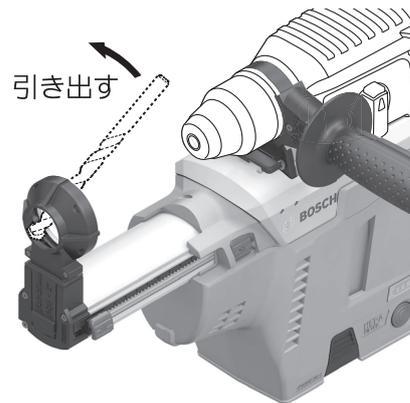
使
い
方

取り外し

1. [ガイド調節ボタン⑬]を押しながらガイド⑩を前方へいっぱいまで引き出します。



2. 「ガイド調節ボタン⑩」を放します。
3. 電動工具本体の取扱説明書に記載されている、先端工具の取り外し手順に従って、先端工具を取り外します。
4. 先端工具の先端部分をダストカップ①②③④の後方から引き出します。



使
い
方

● ガイドの位置を調節する

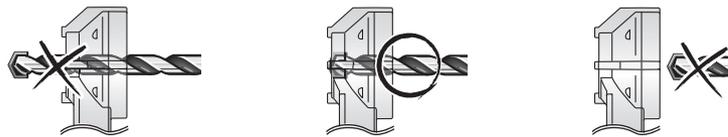
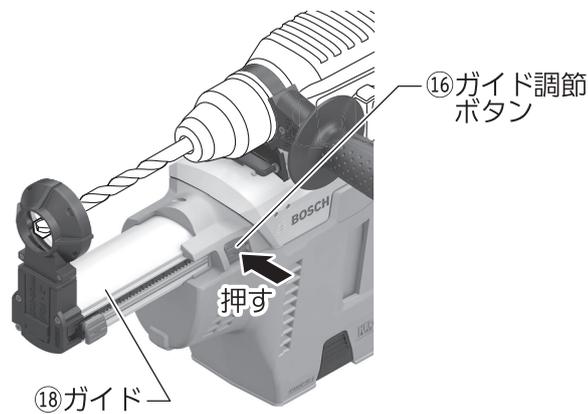


◆ ガイド⑱はスプリング式になっています。「ガイド調節ボタン⑳」を押したときに、ガイド⑱が前方に飛び出ることがありますので、注意してください。

☞ ガイド⑱を正しい位置に調節しないと、確実に吸じんできなったり、深さ調節が任意の深さにならなったりする恐れがあります。

1. ダストカップ①②③④を、材料の表面に当てます。
2. 先端工具が材料の表面に当たるまで、「ガイド調節ボタン⑳」を押しながら電動工具本体を材料に向かって押し込みます。

使
い
方

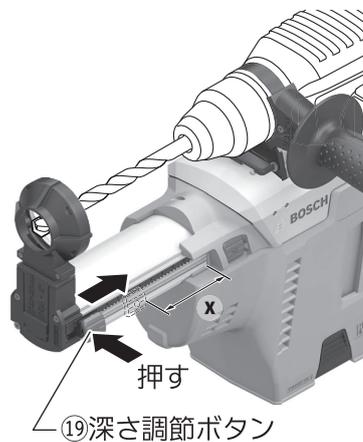


☞ 先端工具は、電動工具本体に取り付けた状態で前後方向への遊びがあります。必ず、いちばん奥まで押し込んでおいてください。

3. 「ガイド調節ボタン⑳」を放します。

● 穴あけ深さを調節する

1. 「深さ調節ボタン⑱」を押しながら、あけたい穴の深さまで「深さ調節ボタン⑱」を動かします。
先端工具をツールホルダーの後方に押し込んで、あそびのないことを確認してください。
2. 位置決めが終わったら、「深さ調節ボタン⑱」を放します。



使
い
方

● ダストカップを交換する

使用しているチャックに応じてダストカップ①②③④を交換してください。

ダストカップ①

クイックリリースシステム採用の
ハンマードリル用φ4mm～16mm



ダストカップ②

クイックリリースシステム採用の
ハンマードリル用φ16mm～26mm



ダストカップ③

通常タイプのSDS-plusチャック
ハンマードリル用φ4mm～16mm



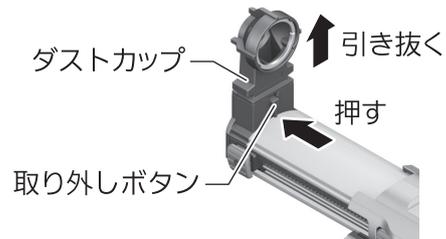
ダストカップ④

通常タイプのSDS-plusチャック
ハンマードリル用φ16mm～26mm

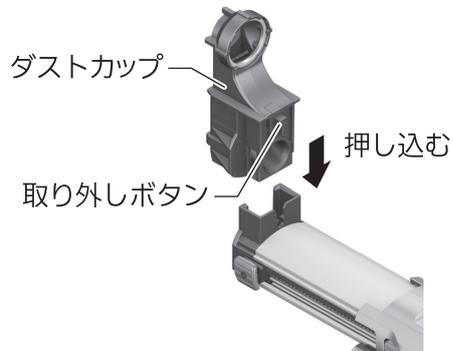


使
い
方

1. 取り付けられているダストカップを、「取り外しボタン」を押しながら上に向かって引き抜きます。



2. 取り付けたいダストカップを、“カチッ”と音がするまで押し込みます。

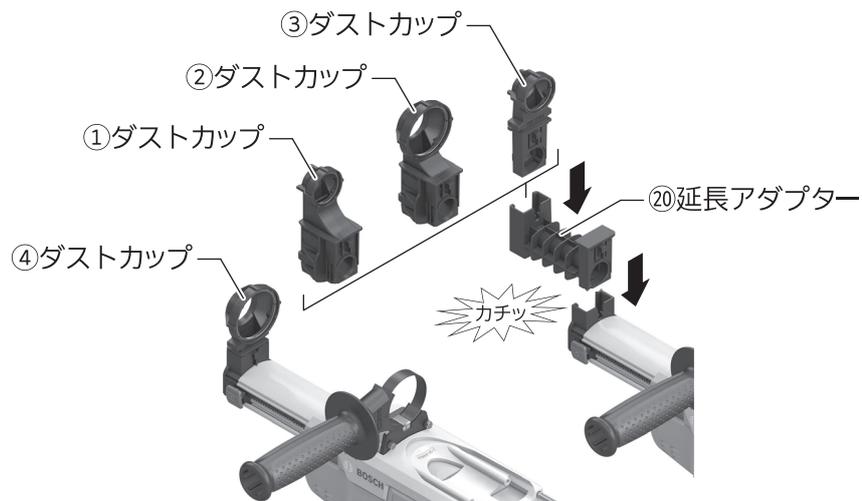


☞ ダストカップ①②③④と壁との接触面が摩耗し、吸じん中に粉じんが吹き出る原因になっているときは、新しいダストカップ①②③④と交換してください。

延長アダプターを使用する

全長165mm～265mmまでのドリルビットを使用するときは、延長アダプター⑳を取り付ける必要があります。

使
い
方



1. 取り付けられているダストカップを、「取り外しボタン」を押しながら上に向かって引き抜きます。
2. 延長アダプター⑳を“カチッ”と音がするまで押し込みます。
3. 延長アダプターに、取り付けたいダストカップを“カチッ”と音がするまで押し込みます。

● 電源を“入”“切”する

[メインスイッチ⑬]を押すと電源が入り、再度押すと電源が切れます。

電子セル保護システム(ECP機能)

この吸じんアダプターには、電子セル保護システム(ECP機能)がついておりません。

本体が過負荷になった場合やバッテリーが過放電または作業可能温度範囲外になった場合、バッテリー保護のために吸じんアダプター本体が自動的に停止します。

上記の状態が解消されると、再始動することができます。

吸じんアダプター本体が停止している状態で[メインスイッチ⑬]を押し続けると、故障の原因になります。

● 粉じんを取り除く

吸じん力が低下したり、ダストボックスがいっぱいになったりしたときは、ダストボックスを清掃してください。

ダストボックス内の状態は、透明カバー⑭から確認することができます。



警告

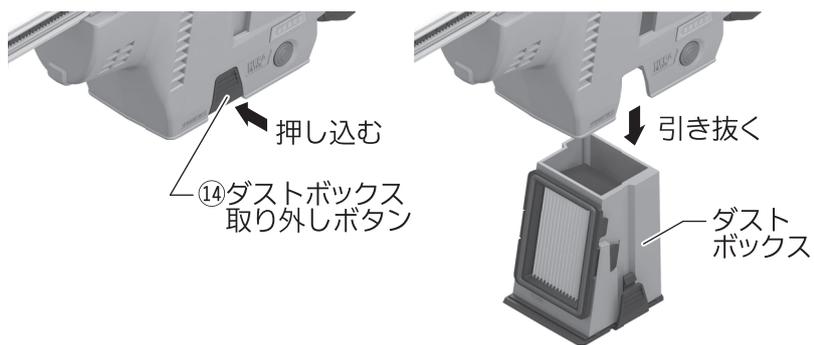
- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、ダストボックスを取り外したり取り付けたりするときは、電動工具本体からバッテリーを取り外したり、電源プラグを電源コンセントから抜いたりしてください。
- ◆ ダストボックスの清掃を行うときは、防じんマスクを着用してください。
- ◆ ニスの粉じんと、ポリウレタンの粉じんやその他化学物質の粉じんが混ざると、発火するおそれがあります。作業の終了ごとに、ダストボックスや交換用フィルターから、粉じんを取り除くようにしてください。

☞ 亀裂があったり、小さな穴が開いていたりするなど、傷ついた交換用フィルターは使用しないでください。

傷ついた交換用フィルターは直ちに交換してください。

1. 電動工具本体からバッテリーを取り外します。
2. 電動工具を水平に持ち、吸じんアダプターの電源を“入”にします。
これにより、ダストカップやガイド内に残っている粉じんがダストボックスに吸い込まれます。
3. 吸じんアダプターの電源を“切”にします。

4. 吸じんアダプターからバッテリー⑪を取り外します。
5. 「ダストボックス取り外しボタン⑭」を左右同時に内側へ押し込みながら、ダストボックスを下へ引き抜きます。
☞ 「ダストボックス取り外しボタン⑭」は、先端が凸状態になっていますので、内側にしっかり押し込まないと、ダストボックスが取り外せません。

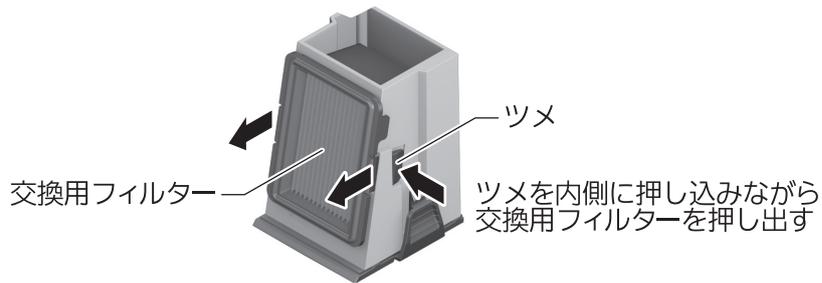


6. 取り外したダストボックスを、かたい表面の所に数回軽く当てます。
粉じんがダストボックスの底部に集まり、後処理がしやすくなります。
7. ダストボックスの底部にたまった粉じんを捨てます。



8. 交換用フィルターを取り外します。
交換用フィルターのツメを左右同時に内側に押し込みながら、交換用フィルターを前方に押し出してください。

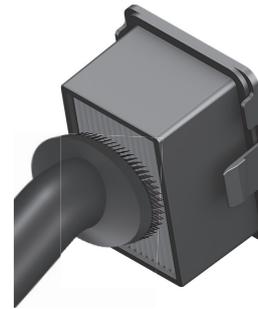
☞ 交換用フィルターのツメは、ツメの先端が凸状態になっていますので、内側(ダストボックス側)に押し込まないと、取り外せません。



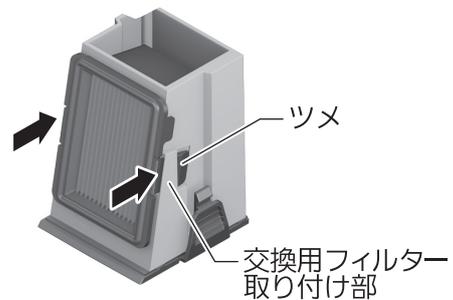
使
い
方

9. 交換用フィルターに付着した粉じんを、やわらかいブラシなどで落とすか、クリーナーで清掃します。

☞ 交換用フィルターは水洗いできません。

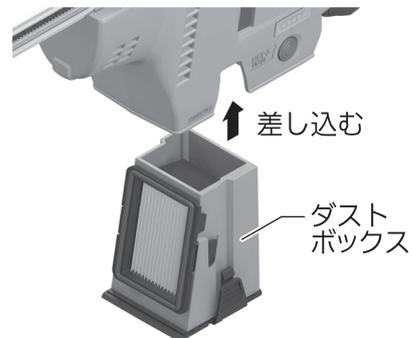


10. 交換用フィルターのツメをダストボックスの左右の交換用フィルター取り付け部に差し込み、“カチッ”と音がするまで押し込みます。



☞ 交換用フィルターのツメは、ツメの先端が凸状態になっています。凸部が交換用フィルター取り付け部に引っかかっていると外れてしまいますので、必ず、“カチッ”と音がするまで押し込んでください。

11. ダストボックスを吸じんアダプターに差し込み、“カチツ”と音がするまで押し込みます。



☞ 「ダストボックス取り外しボタン⑭」は、ボタンの先端が凸状態になっています。凸部が吸じんアダプター本体に引っかかっていないと外れてしまいますので、必ず、“カチツ”と音がするまで押し込んでください。

12. 粉じんを取り除いた後、電動工具本体を水平に保持して数秒間運転させます。
これにより、ダストカップ①②③④に残っていた粉じんがダストボックスに吸い込まれます。

使
い
方

バッテリーを長持ちさせるために

- ◆ 長時間(6か月以上)使用しない場合は、満充電にしてから保管してください。
- ◆ 満充電にしたバッテリーを、再度充電しないでください。
- ◆ 工具の力が弱くなってきたと感じた場合は使用を中止し、充電してください。

リサイクルのために

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ボッシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス電動工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。

つ
バ
ッ
テ
リ
ー
に
い
て

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ボッシュ電動工具取扱店、ボッシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

本製品は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、コードレス電動工具本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出してください。

お手入れと保管



警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー⑪を吸じんアダプター本体から取り外し、お手入れしてください。

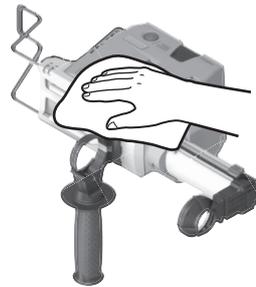
クリーニング

● バッテリー取り外しボタン⑫やバッテリー装着部分に付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす

● 乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。

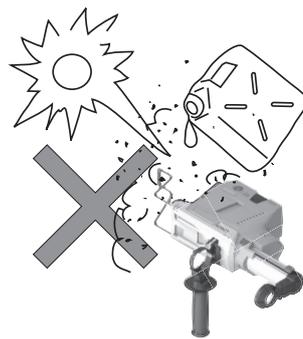
● ダストカップ①②③④の先端工具挿入部分を清掃する



保管

● 使った後は、バッテリー⑪を取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、バッテリーは50℃以上になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼る。
- ガイド⑩をいっぱいまで引き出した状態にする。



保
お
手
入
れ
と
管

吸じんアダプター本体の廃棄について

バッテリー以外の本体および付属品(充電器など)の廃棄については、各地方自治体にその方法を確認し、正しく廃棄してください。

保
管
と
お
手
入
れ

困ったときは

故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直してください。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

症 状	原 因	対 処
「メインスイッチ③」を押しても電源が入らない	バッテリー⑩が消耗している	バッテリー⑩を充電するか、交換する
充電しても、フル充電しない。または、フル充電しても、使用時間が短い	バッテリー⑩の寿命が尽きた	バッテリー⑩を交換する

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合(消耗部品を除きます)が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL.03-5485-6161をご利用ください。
コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813 埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4
TEL 0493-56-5030 FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野741-1
TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

困ったときは

